

3. 初期消火対策

ご家庭に『住宅用消火器』を設置する

※住宅用消火器には、火災の種類に応じて適応火災が絵表示されています。



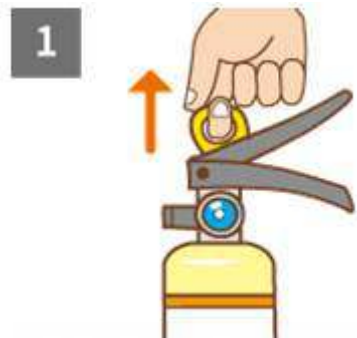
| | | | |
|----------|------------|------------|----------|
| 普通火災 | 天ぷら油火災 | ストーブ火災 | 電気火災 |
|----------|------------|------------|----------|

- 使用期間又は使用期限が表示されています
- 本体の色はメーカーにより異なります
- 消火薬剤には粉末のものや液体（強化液）のものがあります

使用方法について



火災発生!!



1 安全栓を引き抜く



2 火から 1.5~2m 離れる



3 しっかり火元をねらう
力強くギュッと握る



4 薬剤が放出される
小型 (1.5 kg) で
約 12~18 秒間



5 消火を確認する

※いざという時に正しく使用できるように、いつでも取り出せる場所に保管しましょう
※古くなった消火器は絶対に使用せずに販売店等に相談しましょう

〈問い合わせ先〉

羽咋消防署 22-0089
志賀消防署 32-1776

宝達志水消防署 29-3707
志賀消防署富来分署 42-1211

～ 大規模な住宅火災を防ぐために ～

羽咋都市広域圏事務組合消防本部

3つの重点項目

1. 出火防止対策（火事を出さない）

- ・住宅防火対策を構築する（防火意識を高く持つ）
- ・住宅防火診断を行う

2. 早期覚知対策（火事に備える）

- ・住宅用火災警報器を設置する（連動型を推奨）
- ・住宅用火災警報器の点検・交換を行う

3. 初期消火対策（火事に備える）

- ・住宅用消火器を設置する
- ・まちぐるみで消火器等を用いた初期消火訓練を定期的実施する

飛火警戒について

付近で火災が発生した場合に注意すること

〈まずは、身の安全が確保できているか確認することが重要です〉

- ① 窓やドア等の開口部を閉め、屋内への火の粉の飛び込みを防ぐ。
- ② 消火器や水バケツ等を活用しやすい場所に準備しておく。
- ③ 建物内外を見回って、煙が出ている場所はないか確認する。
- ④ 洗濯物等は、速やかに屋内に取り込む。その際は、火の粉が付着していないか確認する。
- ⑤ 火の粉が激しく落下している箇所には散水する。
- ⑥ 火災を発見したら直ちに初期消火を行うとともに、119番通報または、近くの消防隊に伝える。

1. 出火防止対策

※ご家庭の住宅防火対策について、
住宅防火診断書を使って確認しましょう

| | |
|-----------------|--|
| 住宅用火災警報器 | <input type="checkbox"/> 住宅用火災警報器を適正な場所に設置してください。 <input type="checkbox"/> 住宅用火災警報器が故障または電池切れです。機器もしくは電池を交換してください。 <input type="checkbox"/> 連動型住宅用火災警報器の設置をお勧めします。 |
| 住宅用消火器 | <input type="checkbox"/> 住宅用消火器を設置してください。 <input type="checkbox"/> 消火器は容易に取り出せる場所に保管してください。 <input type="checkbox"/> 消火器が老朽化しています。新しい消火器に交換してください。 |
| たばこ | <input type="checkbox"/> 灰皿に水を入れてください。 <input type="checkbox"/> 灰皿に吸い殻がたまっているので、こまめに捨ててください。 <input type="checkbox"/> 吸い殻を捨てる場合は、水を掛けるなど完全に消火してください。 <input type="checkbox"/> 灰皿の周りに燃えやすい物を置かないようにしてください。 |
| こんろ | <input type="checkbox"/> こんろの周りに燃えやすい物を置かないようにしてください。 <input type="checkbox"/> ガスのゴムホースにひび割れがあるので、交換してください。 <input type="checkbox"/> ガスのゴムホースの両端に止金具を設置してください。 <input type="checkbox"/> 使い終わったら元コックを締めてください。 <input type="checkbox"/> 使用していないコックには、メクラキャップをしてください。 <input type="checkbox"/> 安全装置（Si センサー）が付いたガスこんろを使用してください。 <input type="checkbox"/> グリル内に油かすなどが溜まっているので、こまめに手入れしてください。 |
| ガスボンベ | <input type="checkbox"/> ガスボンベは風通しのよい屋外に置いてください。 <input type="checkbox"/> ガスボンベは雨水や直射日光を避けてください。 <input type="checkbox"/> ガスボンベは鎖等で転倒防止の措置をしてください。 |
| ストーブ (石油・電気) | <input type="checkbox"/> ストーブはカーテンなど、燃えやすい物の近くで使用しないでください。 <input type="checkbox"/> ストーブの上に洗濯物を干さないでください。 <input type="checkbox"/> ストーブは必ず消火してから給油してください。 |
| 石油類 | <input type="checkbox"/> 燃料は安全な場所で保管してください。 <input type="checkbox"/> 燃料の保管が多く危険です。必要最小限にしてください。 <input type="checkbox"/> 認定を受けた保管容器で燃料を保管してください。 |
| 電気機器 電気コード | <input type="checkbox"/> 電気コードがカーペットや家具の下敷きになっていて危険です。 <input type="checkbox"/> 電気コードを束ねたまま使用しないでください。 <input type="checkbox"/> たこ足配線をしないでください。 <input type="checkbox"/> コンセントやプラグにほこりが溜まっていて危険です。 <input type="checkbox"/> コンセントにプラグを確実に差し込んでください。 |
| 仏壇 (ローソク・線香) | <input type="checkbox"/> ローソク立ては、安定した物を使用してください。 <input type="checkbox"/> ローソクや線香立ての下には、ガラスや防災性能のある布等を使用してください。 <input type="checkbox"/> ローソクや線香に火をつけたまま、その場を離れないでください。 |
| その他 | <input type="checkbox"/> 家の周りに燃えやすい物を置かないようにしてください。 <input type="checkbox"/> 寝具やカーテン等は防災品を使用すると安心です。 <input type="checkbox"/> 避難しやすいように廊下や階段、玄関などは整理整頓しましょう。 |

2. 早期覚知対策

**住宅用火災警報器を設置する
作動点検と機器の交換も忘れずに！**



10年を目安に交換しましょう。

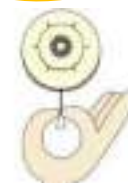
1カ月に**1**度は作動点検を行いましょう。

作動点検の方法

ボタン
を押す



ひも
を引く



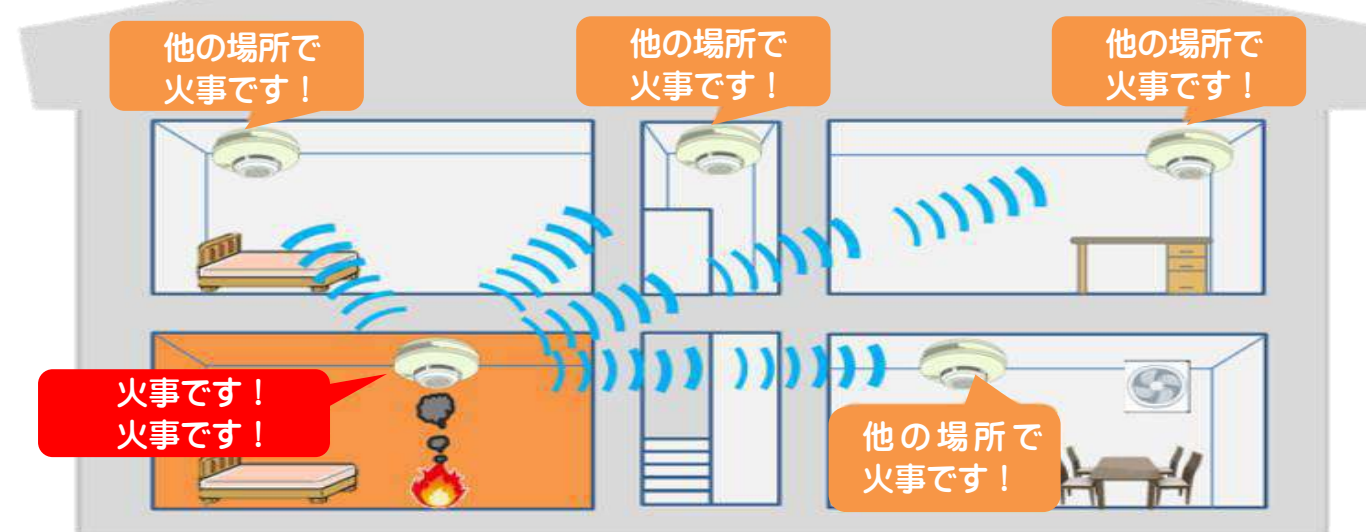
※音が鳴らない場合は・・・？

- ①電池が正しく入っているか確認する。
- ②それでも鳴らない場合は本体の故障ですので機器本体を交換する。

※故障や電池切れを理由に、設置した住宅用火災警報器は絶対に取り外さないでください。

連動型住宅用火災警報器のしくみ

火災を感知した警報器だけではなく、すべての警報器が作動します。



※もし警報音が鳴ったら…？ → **すぐに火災かどうか確認する！**

- ・ 早く発見できた場合は、消火器などで初期消火を行う。
- ・ 天井に火が届くようになったら、消火をあきらめすぐに避難する。
- ・ 避難が出来たらすぐに119番通報を行う。
- ・ 電池切れなどの警報音の場合は、機器を交換する。